

# PG α-10

**サビ児管プロセスにおける「自己理解」について**

**～身体や精神障害の特性から**

**サビ児管プロセスを考える～**

**社会福祉法人 蒼溪会**

**理事長 有野哲章**

# 個別支援計画作成のプロセス

項目	内容
アセスメント（本人と会って）	実際は、見学等からアセスメントは始まっている。 利用するきっかけ・利用する希望 現在→過去→未来 ADLなど
原案作成	本人の希望を中心にすえて考えてみた時、自分の事業所でできるステップは何か？
個別支援会議（本人参加）	情報の共有 本人の理解 支援の足並みをととのえる。 本人が期待する支援・事業所ができる支援を確認
本計画作成	個別支援会議をふまえて、原案を修正し本計画を作成する
本人への説明・サインをもらう	本人の計画を説明。サインをもらうのは、この計画に同意してもらった確認。
モニタリング（終結の場合も）	これまでの生活や利用の様子を踏まえながら、プランに沿って状況を確認。

自己理解について考えてみる

# 精神障害の特性から

項目	内容
アセスメント（本人と会って）	ギャップ： 本人は希望してきていない
原案作成	本人にとっての分かりやすさ。
個別支援会議（本人参加）	プロセスにどれだけ参加できるか 当事者性・主体性は、プロセスにどれだけ参加できるか
本計画作成	いろいろな意見を真摯に受け止める。 そのなかで、自分お事業所でできること。
本人への説明・サインをもらう	サインが契約
モニタリング（終結の場合も）	